【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公表番号】特表2013-509475(P2013-509475A)
【公表日】平成25年3月14日(2013.3.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-013
【出願番号】特願2012-535826(P2012-535826)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ 101/10 (2006.01)
Ｃ０８Ｋ 5/57 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 171/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 133/08 (2006.01)
Ｃ０９Ｊ 171/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｊ 133/04 (2006.01)
Ｃ０９Ｊ 11/02 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 7/12 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/10
Ｃ０８Ｋ 5/57
Ｃ０９Ｄ 171/00
Ｃ０９Ｄ 133/08
Ｃ０９Ｊ 171/00
Ｃ０９Ｊ 133/04
Ｃ０９Ｊ 11/02
Ｃ０９Ｄ 7/12

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月25日(2013.10.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
成分として、
（ａ）一般式（Ｉ）：
$-A_n-R-SiXYZ$ （Ｉ）
〔式中、
Ａは２価の結合基であり、
Ｒは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数１～１２の２価の炭化水素基であり、
Ｘ、Ｙ、Ｚは、互いに独立して、C_1～C_8アルキル基、C_1～C_8アルコキシ基またはC_1～C_8アシルオキシ基であり、少なくとも１つの基がC_1～C_8アルコキシ基またはC_1～C_8アシルオキシ基であり、
ｎは０または１である〕
で示される少なくとも１つの末端基を有する少なくとも１つのポリエーテルおよび／または少なくとも１つのポリアクリル酸エステル、および
（ｂ）少なくとも１つの有機スズ化合物、
（ｃ）スズおよびケイ素原子を含まず、それぞれ、カルボキシ基、カルボニル基、ヒドロ

キシ基および本来芳香族環系の一部である窒素原子から選択される少なくとも２つの官能基を有する化合物であって、該成分（ｃ）が少なくとも１つのＮ－複素環式芳香族化合物またはα－ヒドロキシカルボン酸を含み、Ｎ－複素環式芳香族化合物が８－ヒドロキシキノリン、２－ヒドロキシキノリン、７－ヒドロキシ－３Ｈ－インドール、８－ヒドロキシキノキサリン、８－ヒドロキシキナゾリン、８－ヒドロキシシンノリン、４－ヒドロキシフェナントリジン、４－ヒドロキシアクリジンおよび１－ヒドロキシフェナジン（それぞれさらなる置換基を有することができる）を含む少なくとも１つの化合物
を含む硬化性組成物。
【請求項２】
成分（ｃ）の化合物の総量と成分（ｂ）の化合物の総量のモル比（モル／モル）が１：１０～１０：１である請求項１に記載の硬化性組成物。
【請求項３】
成分（ａ）が、４０００～１０００００ｇ／モルの分子量M_nを有する少なくとも１つのポリエーテルを含む請求項１または２に記載の硬化性組成物。
【請求項４】
成分（ａ）が、ＡＳＴＭ　Ｄ４６７１法により測定した、０．０７ｍｅｑ／ｇ未満の末端不飽和を有する少なくとも１つのポリエーテルを含む請求項１～３のいずれかに記載の硬化性組成物。
【請求項５】
接着促進剤として、一般式（ＩＩ）：
Ｒ'Ｒ''Ｎ－Ｒ－ＳｉＸＹＺ　（ＩＩ）
〔式中、
Ｒ'およびＲ''は、互いに独立して、水素またはC_1～C_8アルキル基であり、
Ｒは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数１～１２の２価の炭化水素基であり、
Ｘ、Ｙ、Ｚは、互いに独立して、C_1～C_8アルキル基、C_1～C_8アルコキシ基またはC_1～C_8アシルオキシ基であり、少なくとも１つの基がC_1～C_8アルコキシ基またはC_1～C_8アシルオキシ基である〕
で示されるシランを含む請求項１～４のいずれかに記載の硬化性組成物。
【請求項６】
１００重量部の成分（ａ）、
０．５～２５重量部の接着促進剤、
０．０１～１０重量部の成分（ｂ）、
０．００１～１００重量部の成分（ｃ）、および、任意に、
０～１２５重量部の可塑剤、
０～１２５重量部のフィラー、
０～２５重量部の乾燥剤または水スカベンジャー、
０～１０重量部のさらなる添加剤、例えば、顔料、安定化剤、ＵＶ吸収剤、抗老化剤、酸化防止剤、レオロジー助剤、希釈剤若しくは反応性希釈剤および／または溶剤、ならびに殺菌剤および難燃剤
を含む請求項１～５のいずれかに記載の硬化性組成物。
【請求項７】
請求項１～６のいずれかに記載の硬化性組成物の製造方法であって、
少なくとも、
（ａ）一般式（Ｉ）：
－A_n－Ｒ－ＳｉＸＹＺ　（Ｉ）
〔式中、
Ａは２価の結合基であり、
Ｒは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数１～１２の２価の炭化水素基であり、
Ｘ、Ｙ、Ｚは、互いに独立して、C_1～C_8アルキル基、C_1～C_8アルコキシ基またはC_1～C_8アシルオキシ基であり、少なくとも１つの基がC_1～C_8アルコキシ基また

はＣ$_{1}$～Ｃ$_{8}$アシルオキシ基であり、
　ｎは０または１である〕
で示される少なくとも１つの末端基を有する少なくとも１つのポリエーテルおよび／または少なくとも１つのポリアクリル酸エステル、および
（ｂ）少なくとも１つの有機スズ化合物、
（ｃ）スズおよびケイ素原子を含まず、それぞれ、カルボキシ基、カルボニル基、ヒドロキシ基および本来芳香族環系の一部である窒素原子から選択される少なくとも２つの官能基を有する化合物であって、該成分（ｃ）が少なくとも１つのＮ－複素環式芳香族化合物またはα－ヒドロキシカルボン酸を含み、Ｎ－複素環式芳香族化合物が８－ヒドロキシキノリン、２－ヒドロキシキノリン、７－ヒドロキシ－３Ｈ－インドール、８－ヒドロキシキノキサリン、８－ヒドロキシキナゾリン、８－ヒドロキシシンノリン、４－ヒドロキシフェナントリジン、４－ヒドロキシアクリジンおよび１－ヒドロキシフェナジン（それぞれさらなる置換基を有することができる）を含む少なくとも１つの化合物
をともに混合する方法。
【請求項８】
　請求項１～６のいずれかに記載の硬化性組成物の、または、請求項７に記載の方法により製造された硬化性組成物の、接着剤、封止剤またはコーティング組成物としての使用。